

R 1 学校評価アンケート結果の分析と考察

【児童アンケート】

〔成果〕

- 1 評価が甘いと感ぜられる項目も見られますが、全体的には自己評価（自己肯定感）が高い結果となっていて、「今の自分はがんばっている」と自覚している子どもが多いと見受けられます。
- 2 「授業は楽しくよくわかる」「自分から行動することができる」の2項目は昨年度後期と比較してプラス評価が3～5ポイント増えています。特に、「自分から行動」は今年度の重点課題の一つであり、授業や行事などの中で子どもたちが自主的に考え行動することを通して向上してきているのだと思います。

〔課題と今後の取組〕

- 1 「学校が楽しくない」と感ぜてる子については把握されているかと思いますが、観察や面談を通してその要因を探り、手だてを講じていければと思います。
- 2 「時間やきまりを守る」が昨年度よりマイナス評価が増えています。子どもたちの様子はいかがでしょうか。気になる点があれば全体で共有して指導していきましょう。

【保護者アンケート】

〔成果〕

- 1 評価結果から保護者の学校に対する関心度や信頼度は高いと言えます。
- 2 子どものアンケート結果とは若干相違はありますが、98%の保護者が子どもは楽しく学校に通っていると感ぜていることは大変大きな成果です。

〔課題と今後の取組〕

- 1 トラブルやけが、いじめ等に関わる学校の対応（連絡・指導・情報提供）に不満、不安を感ぜている保護者が複数見受けられます。けがが伴う場合やトラブルの度合いが大きい場合、当事者があまり納得していない場合は家庭への連絡が必要です。また、日常から電話や家庭訪問で保護者との連携を意図的に図っておくことも保護者対応の危機管理として重要だと思います。
- 2 ゲームやインターネットについては「家庭のルールづくりと徹底」にあまり関心をもっていない保護者が多く見られるのではないかと思います。学校便りなどで積極的に啓発に取り組んでいきます。
- 3 PTA活動については、アクションプランとも関連させて、保護者にとっても負担にならず、参加しやすい組織の在り方や活動内容の整理を検討していきたいと思います。

※検討したい点～「おきべん」「いじめアンケート」「リップクリーム等」

【教職員アンケート】

〔成果〕

- 1 各学年・分掌において「子どもを育てる、伸ばす」という視点で様々な取組を進めていただき、特に町研や学習発表会での子どもたちの姿にその成果が顕著に表れていると思います。

〔課題と今後の取組〕

- 1 学習面では「学習規律の徹底」「わかる、できる授業づくり」「基礎基本の定着」にやや課題ありという結果になっています。手立てとして、一つめは1年生から6年生まで積み上げていく系統的な学習規律が必要かと思っています。小中連携協議会→各学校という流れで検討中ですが、新年度へ向けて学校で統一したものとしてつくっていかねばならないと思います。二つめは、少人数指導（3・5・6年）など成果が見られる指導法をより効果的に実践していくこと、三つめは家庭学習や下音タイムでドリルなど繰り返しの機会を積み上げていくこと。
- 2 学級のきまりやルールが定着されていないという課題も見受けられますが、これについても基本的なことは学校統一した指導が重要であり効果的だと思います。